

価値創造型人材育成のための産学連携型学部・大学院連結プログラムの構築

本事業の背景

Plan

産業界から提言による戦略

中京地域産業界との融合、2つの人材を育成
・技術の深化によって技術革新を牽引する人材
・価値創造によって技術革新を牽引する人材

本事業の目的：価値創造型、学部・大学院連結課程のための大学院カリキュラムを構築する。

平成26年度 平成28年度 平成30年度 平成32年度 平成34年度

平成26年6月
産学官教育連携
会議 設置

平成26年10月
名工大版理工系人材
育成戦略 発表

平成28年4月
価値創造型人材を育成する創造
工学教育課程を工学部に設置

平成32年4月
創造工学教育課程に大
学院組織を設置(目標)

平成34年4月
学部・大学院連結
課程の完成(目標)

大学院カリキュラムを構築

創造工学教育課程 大学院段階

本事業により、産学教育連携体制で大学院カリキュラムを構築し、大学院組織を目指す。

学部・大学院連結プログラム

工学部 創造工学教育課程

自律的学習の重視：学生自身が学習・キャリアの計画を作成、これに基づき履修計画。

分野横断的学習：主軸の分野に加え、工学全体から科目選択。ナンバリングで支援。

工学コアカリキュラム デザイン思考等を含む工学デザイン科目を含むカリキュラム。

実践的学習 全分野から8研究室×2ヶ月体験。PBL演習等、プロジェクト演習。

分野混成の学習空間 混成でアクティブラーニング。互いに工学センスを補完し、多角的視野を醸成。

適切な指導体制 学期毎の学習ポートフォリオで達成度ルーブリックを評価。少人数メンター制。

産業界との連携体制構築に向けた計画

- ①既設置の産学官教育連携会議で学部課程を評価
- ②実施組織としてOB組織などと、産学連携創造工学教育推進会議(仮)を設置。

企業型教員が参加する、分野混成の課題研究ワークショップを構築。課題、指導法を整備

コーディネータの雇用。国内外拠点の整備。事前・事後教育プログラム整備、教材・指導マニュアル。安全・リスク管理整備。

中京地域産業界と連携した教育の実施。

教育内容構築に向けた計画

- ①産学教育連携体制に基づく課題研究ワークショップの実施。
- ②実践的研究インターンシップ体制の拡充
- ③大学院工学コアカリキュラムの整備

大学院版工学デザイン科目の整備、数理情報の強化。産学協同の教材開発。

教員の教育業績評価制度確立に向けた計画

- ①戦略的教育体制の整備
- ②教育業績評価制度の整備、FD体制の整備

Check

産業界からの評価

Do

Action

学生の状況を分析・評価
カリキュラムの改善

- 俯瞰的・多角的視野を備えた価値創造型人材の輩出
- 産業界と作る工学教育カリキュラム、教育手法
- 名工大版工学コアカリキュラム
- 実践的課題研究による指導法、評価法